

普通科目（ 保健 ）の学習指導案 18 No.13

1. 指導目標

- (1) ごみの出にくい製造法やリサイクルしやすい製品の開発などを知的財産の視点で捉え、ごみ処理には、新技術の導入など、工夫・改善が必要な事を理解させる。
- (2) 健康で快適な生活を過ごすための環境衛生活動に関して、「容器包装リサイクル法」や「家電リサイクル法」を取り上げ、ごみ処理の過程を簡単に説明できるようになる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間 (分)	指導上の留意点
導 入	・ごみ処理法について、焼却、埋め立て、堆肥化、飼料化、リサイクル等があることを説明する。	5	
展 開	・「容器包装リサイクル法」や「家電リサイクル法」を取り上げる。 ・ごみの排出量をおさえる方法について調べる。 (消費者) (7) 無駄な買い物をしない (8) 繰り返し使える製品を選ぶ (9) 製品を長く使う (製造者) (1) ごみのでにくい製造法の開発 (2) リサイクルしやすい製品の開発 (その他) (1) ごみの分別収集 (2) ごみの資源化のための社会システムの整備 ・リサイクル商品や容器等に導入されている新技術について調べる。	40	・法律が制定された目的を説明する。 ・ごみの排出量をおさえる具体的な方法について班別学習で調べ、結果を発表させる。 ・ごみの排出量をおさえる具体的な事例を紹介する。 (ビデオ教材を用意する) ・リサイクル商品や容器等に導入されている新技術(特許)に関する資料を紹介する。
整 理	・新技術の導入など、工夫・改善されている内容を整理する。	5	・ごみ処理と新技術の開発との関連を整理する。
備 考	「現代保健体育」(大修館書店)P94～P95「環境衛生活動のしくみと働き 1.ごみの処理」		